

稲作だより 第2号

令和6年8月6日発行
福岡市農業指導センター

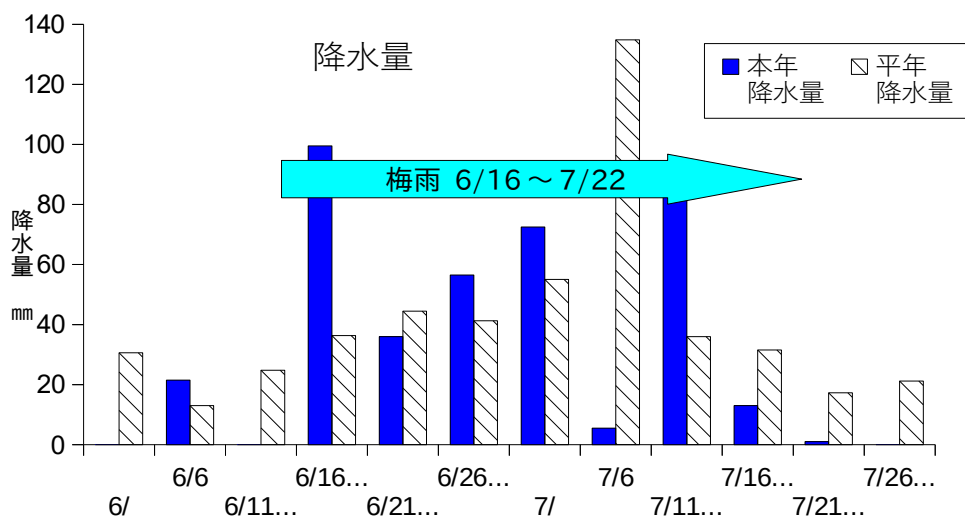
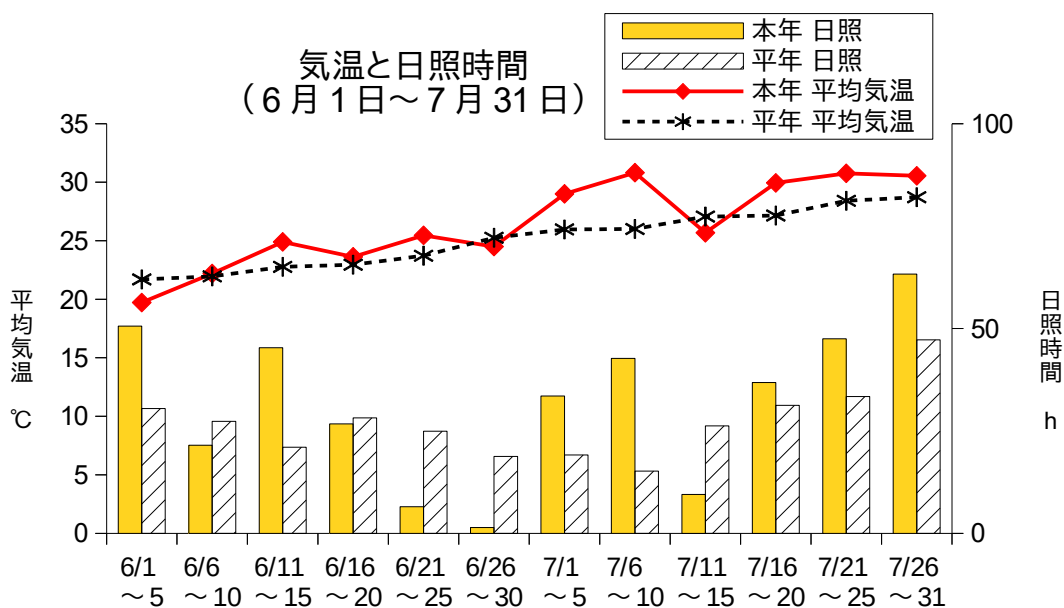
北部九州の梅雨明けは、平年より3日遅く7月22日頃で渇水量は確保されていますが、7月下旬以降、晴天が続いていることから一部地域では水不足が懸念されています。今回の稲作だよりでは、出穂期前後の管理と夢つくし・元気つくしの収穫適期等についてお知らせします。

1. 気象及び生育概況

- ・気象概況 梅雨明け以降、猛暑日が続き降水量が減少しています。
- ・早期水稻 概ね生育順調で間もなく収穫期を迎えます。
- ・普通期水稻 ジャンボタニシによる食害、水田雑草の発生が一部で見られるものの概ね順調に推移しています。



	6月1日～7月31日（観測地点：前原）				
	平均気温（℃）	最高気温（℃）	最低気温（℃）	降水量（mm）	日照時間（h）
令和6年	26.5	30.8	23.2	394.5	385.3
平年値	25.2	29.3	21.8	486.5	323.2
平年差	+ 1.3	+ 1.5	+ 1.4	▲ 92.0	+ 62.1



2. 水管理

1) 出穂期前後の水管理

最も水が必要な時期です。出穂前後 1 週間は浅水管理を徹底しましょう。

2) 出穂 1 週間後から収穫期まで

早期の落水は行わず、可能な限り収穫間際まで間断灌水を行いましょう。

3) 台風対策

脱水・倒伏を防ぐため可能な限り深水管理を行い、台風通過 3～4 日後に水を入れ替え、間断かん水を行いましょう。

3. 出穂期及び収穫適期予測

高温の影響から、**出穂期・収穫期が例年に比べ数日早まる傾向**があります。今後も高温が続くことが予想されますので、生育状況を注意深く観察して下さい。

1) 早期 夢つくし (5/20 植えまで)

8月20日頃が収穫適期見込です。

2) 普通期水稻

夢つくし・元気つくしの収穫適期は下表の通りです。

	夢つくし	元気つくし	ヒノヒカリ	実りつくし	ヒヨクモチ	夢あおば	笑みたわわ
田植え日	6/ 1	6/10	6/10	6/20	6/20	6/20	6/20
	6/10	6/20	6/20				
出穂期 予測	8/ 3 頃	8/12 頃	8/22 頃	8/30 頃	9/ 2 頃	8/18 頃	8/25 頃
	8/ 8 頃	8/17 頃	8/25 頃				
収穫適期 予測	9/ 5 頃	9/18 頃					
	9/10 頃	9/24 頃					

ヒノヒカリ以降の収穫期は
次号でお知らせします！



4. 病害虫の発生状況と対策

1) トビイロウンカ

7月下旬の調査では、**発生は少ない状況**ですが、近隣県では多いとの情報が入っています。1株あたり、1頭以上の発生がある場合は防除を検討しましょう。防除適期は、8月下旬です。今後も注意深く観察して、発生情報を確認して下さい。

令和2年は7月下旬に10株あたり1～2頭の発生が見られ、収穫期直前に大発生して大きな被害をもたらしました。今年も引き続き注意しましょう！



【トビイロウンカ】



2) イネカメムシ

近年、福岡県下で被害が拡大しているカメムシの一種で、本年も管内全域で発生が確認されています。主に出穂期～穂揃い期に籾の基部を吸汁することから不稔の原因となり、大量発生すると大きな被害をもたらす恐れがあります。防除適期は、出穂期です。

7月下旬の調査では、**発生は少ない状況**ですが、今後も注意深く観察して、発生情報を確認して下さい。

【イネカメムシ】



3) 斑点米カメムシ

田んぼの中での**発生は少ない状況**です。出穂10日前までは、こまめな草刈を行いましょう。防除適期は、出穂期から14日後頃です。

【斑点米カメムシ】



4) コブノメイガ

一部の田んぼで食害は見られますが、収量への影響は殆どないことから、防除は不要です。

【葉いもち病】



5) いもち病

全体的に**発生は少ない状況**ですが、中山間地や平坦地の一部の田んぼで発生が見られます。上位葉に発生がある場合は、「穂いもち」に進行する恐れがあります。防除が必要な場合は、出穂直前（ジャンボ剤は5日前まで）に行いましょう。「穂いもち」に進行してからの防除は効果が劣ります。

【紋枯病】



6) 紋枯病

全体的に発生は少ない状況です。高温時に発病が増える傾向がありますので注意して下さい。

5. 収穫期・収穫時の留意事項

下記の条件の場合、農産物検査において等級格下げの原因となります。

1) 胴割れ（立毛胴割れ）

早期落水や刈り遅れの場合に、立毛の状態で胴割れが発生します。特に高温年の刈り遅れは発生が多くなります。可能な限り収穫間際まで間断灌水を行いましょう。

2) ヤケ米

収穫した籾を長時間、炎天下にさらしたり、コンバイン袋に入れて放置しているとヤケ米が発生します。収穫後は出来るだけ速やかに乾燥機に入れ送風にしましょう。

3) 稲こうじ病

稲こうじ病菌の損傷を受けたものは「規格外」となります。発生が多い田んぼの収穫乾燥は別に行いましょう。

4) 雑草種子

雑草種子の混入は、等級格下げ（殆どの場合が規格外）になります。色彩選別機でも完全に除去するのは困難ですので、種子が落ちる前に抜き取りましょう。

【胴割れ米】



【稲こうじ病】



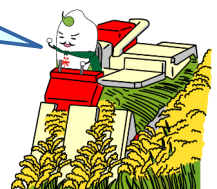
【クサネム】



【ナガボノウルシ】



コンバインによる農作業事故
に注意しましょう！



稲の生育・病害虫発生状況は圃場毎に異なります。十分に観察を行い状態を把握しましょう。今後の情報については、引き続き「稲作だより3号」「携帯版稲作情報」でお知らせします。